

**EUSI メールマガジン Vol. 005**  
**「欧州の危機と制度構築」(杉崎京太)**

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

**【EUSI Commentary Vol. 003】**

**「欧州の危機と制度構築」**

杉崎京太(津田塾大学国際関係学科教授・EUSI 執行委員)

欧州経済危機についての議論がかまびすしい。ユーロ圏とEUの世界経済に及ぼす重大性から考えれば当然のことではある。これらの議論の背景には、経済成長の方向性を見失ったEUにどのような存在意義があるのか、という懐疑的見方も存在する。しかし、「市場」の圧力のもとで剣が峰にたつユーロ圏とEUの、緩慢ではあるが着実な、制度構築の進展については見逃されがちである。

そもそも欧州統合の目的はなんであったのか。田中俊郎氏がこのコラムで言及した、「不戦共同体」の意味は未だに重要な意味をもつ。確かに、独仏間の論理としても、冷戦のもとでの論理としても、この平和な時代に色あせたかのように見えはする。しかし、ユーロ圏が、小国家分立と市場統合の二重性という、単一通貨圏としては致命的な弱点をもち、市場の鋭い攻撃にさらされながらも耐えている図からは、この「不戦共同体」としての論理が今日依然として生きていることを読み取ることができる。なぜならば、国家間の経済的利害の対立こそが帝国主義の時代の欧州分裂の底にあったものであり、分離主義・離脱主義の放任による「バルカン化」は、欧州に新たな政治的危機を醸成しかねないという現実が存在するからである。

さらに忘れてはならないのは・・・

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol03.pdf>

**【EUSI イベントご案内】**

公開講座「フィンランドから見たEU-親EUと反EUの意味するもの」

「反EU政党『真のフィンランド人』-その歴史的起源と政策的特徴-」

石野裕子 (津田塾大学国際関係研究所研究員)

「フィンランドの教育システムと欧州統合」

カウコ・ライティネン (フィンランドセンター所長)

2012年7月7日(土) 13:00-17:00

津田塾大学 小平キャンパス 7号館 1F 中島記念ホール

[http://eusi.jp/content\\_jp/outreach/seminar/20120707\\_publiclecture.html](http://eusi.jp/content_jp/outreach/seminar/20120707_publiclecture.html)

日本経済研究センターセミナー「ユーロ危機再燃の行方」

中空麻奈 (BNPパリバ証券クレジット調査部長)

林秀毅 (日本経済研究センター特任研究員、EUSI 主任研究員)

前田昌孝 (日本経済研究センター主任研究員)

7月18日(水) 13:30-15:00

日本経済新聞社東京本社ビル 6階セミナールーム2

<http://www.jcer.or.jp/seminar/tokyo/index.html#201207>

### 【EUSI 研究成果刊行】

岡野衛士・千葉経済大学経済学科准教授と小川英治・EUSI 理事長が、次の研究成果をワーキングペーパーとして刊行しました。

Eiji Okano and Eiji Ogawa,

"Sovereign Risk in the Euro Zone and Monetary Policy"

(EUSI Working Paper Series E-2012-02)

[http://eusi.jp/content\\_jp/research/working/working-economics/wp\\_e-2012-02.html](http://eusi.jp/content_jp/research/working/working-economics/wp_e-2012-02.html)

### 【EU に関するニュース】

2012年6月1日 アイルランド国民投票、EU 財政協定批准を可決。投票率 50%、うち賛成票 60.3%

2012年6月1日 欧州委員会、移民・庇護・自由移動に関する 2011 年報告書を採択

2012年6月1日 Eurostat、2012年3月-4月のユーロ圏全体の失業率を 11.0%と発表。1995年統計開始後最悪水準

2012年6月3日 EU・ロシア定期首脳会議開催。経済通商連携で一致するも、シリア問題・人権問題では踏み込まず

2012年6月4日 欧州委員会・ECB・IMF 合同調査団、ポルトガルの財政再建調査報告。同国の取組を評価、融資勧告へ

2012年6月4日 駐日欧州連合代表部・アジア開発銀行研究所、「欧州債務危機に対する EU の対応」セミナー開催

2012年6月4日 外務省・EU、第3回日・EU 英語俳句コンテストを開催。テーマは「曙(Dawn)」(7月30日まで)

2012年6月5日 G7 財務相・中央銀行総裁、緊急電話会議。スペイン・欧州債務危機問題や為替安定策などで協議

2012年6月5日 EU・パキスタン戦略対話、イスラマバードで開催

2012年6月5日 ゲオルギエヴァ国際協力・人道援助・危機対応担当欧州委員、シリア情勢に関する声明発表

2012年6月5日 ラホイ・スペイン首相、上院で演説。EU の「銀行同盟」(共同債・共通預金保護など)の構築を主張

2012年6月5日 EU、宇宙活動に関する国際行動規範多国間会合をウィーンで開催

2012年6月6日 欧州委員会、EU 域内共通の銀行救済・破綻処理のメカニズムとなる新枠組提案を採択

2012年6月6日 ECB 理事会、3度目の長期資金供給オペの可能性を否定。ユーロ債務危機の各国政府の責任を強調

2012年6月6日 シュヴァイスグート大使、経済広報センター主催のユーロ危機に関するセミナーで基調講演

2012年6月7日 メルケル独首相、独公共放送 ARD で、欧州危機に対する政治同盟構築と更なる EU への主権移譲を主張

2012年6月7日 日・EU エネルギー対話、東京で開催。原発事故情報共有・除染・廃炉・エネルギー協力強化で一致

2012年6月7日 アシュトン EU 上級代表、シリア問題に関する非難声明

2012年6月7日 欧州系格付会社フィッチ・レーティングス、スペイン国債長期信用格付を AAA から BBB に3段階引下げ

2012年6月8日 IMF、スペイン金融状況審査報告書を発表。少なくとも 400 億ユーロの資本増強が必要

2012年6月8日 欧州委員会、欧州近隣パートナーシッププログラム(ENPI)の下、シリアに対する当別措置を採択

2012年6月8日 欧州委員会、「単一市場のためのより良いガバナンス」などの経済成長のための行動計画を採

択

- 2012年6月8日 山根外務副大臣＝エッティンガー・エネルギー担当欧州委員会談。エネルギーや EPA など意見交換
- 2012年6月8日 日・コソボ首脳会談。サチ・コソボ首相、EU 及び NATO 加盟を目指す方針を表明
- 2012年6月9日 ユーログループ、財務相緊急電話会議開催。最大 1000 億ユーロ規模の対スペイン債務支援用意表明
- 2012年6月10日 仏国民議会選挙第一回投票、オランダ大統領の与党・社会党ら左派が 46.77%、右派が 34.07%得票
- 2012年6月12日 ECB、半期毎の金融安定報告書を発表。スペイン支援は安定に寄与、危機解決は政府の役割と強調
- 2012年6月12日 メルケル独首相、スペインの銀行不備を指摘しなかった欧州銀行監督機構(EBA)の監督機能を批判
- 2012年6月13日 Eurostat、2011年の直接投資額(FDI)を発表。EUの対外 FDI・諸外国の対 EU FDI 共に前年比倍以上
- 2012年6月13日 IMF、アイルランドに対して 14 億ユーロの融資を承認
- 2012年6月13日 欧州議会、日・EU EPA の自動車産業への悪影響に鑑み、欧州議会が承認するまで交渉停止を可決
- 2012年6月14日 アシュトン EU 上級代表、ニコリッチ・セルビア大統領と会談、セルビアの EU 志向を期待
- 2012年6月15日 EU 理事会、対シリア向け奢侈品・両用品の輸出禁止を可決。6月17日より適用
- 2012年6月15日 EU 理事会・欧州議会、エネルギー効率指令に非公式に合意。2020年まで 20%エネ効率向上目標
- 2012年6月15日 EUと中国、災害リスク管理のための合同プロジェクトを正式に開始

### 【編集後記】

ギリシャでは総選挙後、新たな連立政権作りが進められ、同国のユーロ離脱は当面回避されました。

しかし依然その財政状態は厳しい中、救済の条件が緩和されれば、市場では「問題先送り」と理解され、新たな不安要因になっていくでしょう。

さらに、6月21日のEU財務相会合では7月早々にもスペインへの救済支援を行うことが議論されました。

今後、スペインの銀行セクターへの対応にとどまらず、EUの金融監督全体を見直す「銀行同盟」などの議論が具体化するかどうか注目しています。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

今年は世界的にも選挙の多い年ですが、その中でもギリシャの総選挙と再選挙は本当に大きな出来事として世界中から注目されました。ギリシャ以外にもフランスでは大統領選挙と国民議会選挙があり、サルコジ・国民運動連合政権から、オランダ・社会党政権へと大きな転換を果たしました。

今後は、先日緊縮財政をめぐる内閣総辞職に至ったオランダで9月に総選挙、10月にはスロヴェニア大統領選挙とリトアニアとチェコで総選挙、11月にはルーマニアで総選挙と、息つく暇もないほど欧州をめぐる情勢は混沌としています。彼らの決断がどのようなものになるか今後も注視したいと思います。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1  
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局  
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp

---